

大橋 洋治

最

近読んで感銘を受けた本に『美徳の経営』（野中郁次郎・紺野登著／N T T出版）がある。その中にある「賢慮」という素晴らしい概念を少しご紹介したい。

私は常々、暗黙知の重要性を認識してきた。暗黙知とは、前・花王会長の常盤文克さんが著書『「知の経営」を深める』（P H P 研究所）で述べられているように、会社

であれば集団に属する知であり、上司から部下へ、先輩から後輩へと、社員全員で年月をかけて育て、伝えていくその組織固有の知。これは他の誰も模倣できないものであり、これからの企業や個人にとって極めて大切なものであると思うが、本書では、さらに高質な暗黙知としての「賢慮」を説いている。

「賢慮」(phronesis・フロネシス)とは、古代ギリシャのアリストテレスが説いた美徳の実践に重きを置いた概念で、個別具体の場において、その本質

副代表幹事
地方行財政改革委員会 委員長
全日本空輸
取締役会長



最高の実践的知恵である「賢慮」

を把握しつつ、同時に全体の善のために最良の行為を選び実践できる知恵であり、「中庸」を得た、しなやかな強さにつながるものであるという。まさに美徳の経営を実践するための知。それは決して論理的なノウハウではなく、社会的、政治的、歴史的、美的なものに裏打ちされており、「美」とそれを裏づける「徳」を、理想と現実の矛盾を超えて実践するための高質な暗黙知であるとも言える。

この「賢慮」こそ、経営者をはじめ社会のリーダーが持つべき重要な資質であると本書では説かれている。最近、社会で起きている不祥事や事件を見ると、このような原点に回帰する概念を見つめ直し、知のリーダーを養成する必要性を強く感じる。また、賢慮に基づいた「美徳の経営」は、まさに一企業だけで為せるものではなく、国のあり方、地域の問題、さらにはグローバルな活動にも結びつくものであろう。私は、今年度から副代表幹事を拝命し、地方行財政改革委員会委員長も仰せつがっているが、この「賢慮」を肝に銘じながら難しい問題にも取り組んでいきたいと思っている。

Contents

001 ● 巻頭言 大橋洋治	最高の実践的知恵である「賢慮」
002 ● 特集・新副代表幹事 座談会 2	日本のコア・コンピタンスは何か 企業の社会的責任とは何か
009 ● 委員長インタビュー	NPO・社会起業推進委員会 濱口敏行 政治委員会 丹羽宇一郎 企業経営委員会 長谷川閑史
012 ● リレートーク 加賀山 進	トップは24時間ノートPCを携帯せよ
013 ● 経済同友会最前線	経済同友会シンポジウム「企業とNPO」／NPO見本市(メッセ)他
023 ● 同友会スケッチ	2007年6月の記録と8月の予定
024 ● 新入会員紹介	2007年6月15日現在の入退会者
036 ● 私の思い出写真館 柴田 励司	“居所変わり”の私のこれまで